

# 鹿大教職組ニュース

Tel. 099-285-7285, Fax:099-285-7286 e-mail. ka-kumiai@leaf.ocn.ne.jp

学習会開催報告(12/1)「障害のある学生への修学支援について」	1
全大教合同地区別単組代表者会議に参加して(2/11-12)	2
日本科学者会議鹿児島支部との共催でシンポジウム「川内原発を考える」(2/18)	2

## 学習会開催報告(12/1)

### テーマ 「障害のある学生への修学支援について」

去る12月1日(木)18時から、農学部・共同獣医学部共通棟104講義室にて、学習会「障害のある学生への修学支援について」を開催しました。当日は30名の組合員にお集まりいただき、講演後の討論も活発に行われ、盛況でした。また、終了後には懇親会も開催され、21名の出席者があり、講演者の先生や出席者ともざっくばらんに意見交換ができました。本学習会の概要は以下の通りです。



学習会の様子

障害学習支援センターの今村智佳子先生から、「障害のある学生への修学支援について」という題目で、国内や海外の大学での障害学生の状況と推移、鹿児島大学の支援体制等について話があった後、例えば、麻痺のある学生が講義に遅刻する場合、それを認めたとしてもその遅刻した時間の学習をどう補償するか、使用するスライド(見ている場所が違う可能性がある)や話す場所(後方で話すと聞きとりにくい場合がある)でも当事者にわかるように配慮する必要があるなど具体例を交えながら、障害学生への学習の保障・配慮について話題提供いただきました。次に、本学における具体的な取り組み例として、山本淳組合員から、「水産学部における聴覚障害学生の支援について」の演題で話題提供いただき、水産学部ではFD活動の一環として、全学の援助もあったそうですが、聴覚障害の学生に対して、できること・できないことを仕分けしながら様々な対策や支援を行われたお話、その過程で学生の積極的な協力もあったことで、周囲の学生にもよい効果があったこと、受講生の授業の理解度が向上できたことなどをご報告いただきました。

個人的には「言われてみればそうだよな」や「ここまで支援するのか」といったことを知る機会となり、大変参考になりました。また、学生側に立って配慮し、様々な協力を得ることで、結果的に学生だけでなく自分のためにもなるということを改めて認識できた有意義な時間でした。

(学習会担当 下桐 猛)



懇親会の様子

## 全大教合同地区別単組代表者会議に参加して (2/11-12)

去る2月11日から12日にかけて北九州市小倉商工会館で行われた、この会議について報告します。ここでは、全国各地の組合（単組）における取り組みが全大教によって報告され、次いで、会議に参加した各単組の代表からも報告され、それらを踏まえて意見交換が行われました。

1日目は、賃金・労働条件及び組織拡大・強化の課題について議論しました。ここでは2つの重要点を挙げておきます。一点目は、非常勤有期雇用者の5年間で雇止めです。この雇止めは職務に関する技量を高めた職員を手放し、新人の教育に負担が掛かる等の問題が指摘されています。東北大学単組でまとめた5項目の雇止めデメリットを、注視すべきでしょう。二点目は、大学財政の困窮化の中で人件費削減か研究費削減かという厳しい選択肢です。既に実施例が報告されていますが、大学当局そして団体交渉をする組合双方とも、この件についてしっかり議論する必要があります。

2日目は、大学・高等教育及び平和・民主主義・人権の課題について議論しました。ここでも2つの重要点を挙げておきます。一点目は、大学運営者、特に理事の経営責任や横暴に対する追求です。実際、必要以上の理事ポストの設置、本来認められない経費（国際線フライトにおけるビジネスクラス使用、退職金の上乗せ、等）の支出などが報告されました。二点目は、軍学共同研究へ反対していく取り組みです。日本学術会議による中間報告を静観する状況になっていますが、知的学術機関として大学自身が議論判断し世間に意思表示をする事例が、多く報告されました。

1日目の夜の懇親会では参加者同士で親睦を深め合ったのですが、九州大学出身の同輩が大分大学そして鹿児島大学の単組に所属していることが分かり、横のつながりの頼もしさを感じさせられました。

(理学部支部 今井 裕)



## 日本科学者会議鹿児島支部との共催シンポジウム「川内原発を考える」(2/18)

去る2月18日(土)14時から、農学部・共同獣医学部共通棟204講義室にて、日本科学者会議鹿児島支部と鹿児島大学教職員組合との共催でシンポジウム「川内原発を考える」が開催されました。当日は毎日新聞社などの報道関係者を含む約80人の出席者があり、大変な盛会となりました。



向原祥隆氏

核・エネルギー問題情報センター事務局長の館野淳氏からは「福島事故5年度の現状と課題」、鹿児島国際大学教授の八木正氏からは「川内原発と再生可能エネルギーー地域経済の視角からー」、ストップ川内原発！3.11鹿児島実行委員会事務局長の向原祥隆氏からは「川内原発をめぐる諸状況」という演題で、川内原発を中心に現在の原発が関わる問題についてのご講演があり、その後の総合討論では活発かつ一部刺激的な意見交換が行われました。

(学習会担当 下桐 猛)



館野 淳氏



八木 正氏